

## オープンカテゴリー

テーマ：「社会の一員としてのロボット」

### 1. 参加資格とチーム構成

- ・年齢共通ルールにある「年齢分けの定義」参照
- ・競技は、小学生・中学生・高校生の3つの部門で行われる。
- ・チーム構成共通ルールにある「チームの定義」参照
- ・コーチ共通ルールにある「コーチ」参照
- ・オープンカテゴリーに参加するチームは他のカテゴリーの競技には参加できない。

### 1. ルール

- ・レゴ部品と他の材料との割合に制限はない。ただし、どのロボットも RCX または NXT コントローラーとなんらかのソフトウェアで制御されていなくてはならない。
- ・ロボットは事前に組み立てておいてよい。プログラムは事前に作っておいてよい。
- ・ブースのサイズは 2000mm×2000mm×2000mm である。
- ・各ブースにはテーブル（1800mm×450mm（予定））1台およびいす4つが用意される。
- ・オープンカテゴリー参加チームは次の過程を経ること。
  - －最終組み立てとテスト
  - －ポスター等でブースを飾り付け
  - －審査員にデモンストレーションおよび審査員からの質疑応答
- ・図・写真・ビデオなどで、異なる角度からのロボットと、プログラムの例を視覚的に説明する物を提出すること。
- ・各チームはロボットの説明をまとめたレポートを提出すること。その中にロボットがどのようにユニークなのかを説明していること。
- ・ビデオ審査を経て選抜されたチームが WRO 2012 Japan 決勝大会に出場できる。

（ビデオおよびレポートの提出方法）

- ・各チームは以下の指示に従ってビデオ（最大2分間）およびレポート（A4サイズ3枚以内）の電子データを提出すること。
  - 1) ビデオおよび電子データのファイル名  
提出ファイル名は以下を必ず記載すること。
    - ① カテゴリーNo.（小学生：1、中学生2、高校生3）
    - ② チーム名
    - ③ チーム名のあとに .ppt. 又は.pdf.  
例) 小学生部門 チーム名「ロボットクラブ」  
→ファイル名： 1. ロボットクラブ.ppt 又は 1. ロボットクラブ.pdf
  - 2) Japan 決勝大会当日、レポートを紙で審査員に提出すること。
- ・各チームは最低 1200mm×900mm のサイズのポスターを1枚以上ブースに貼り出すこと。ポスターは観客にロボットを紹介するものであること。

## プレゼンテーション

1. 各チームに10分の持ち時間がある。5分間でロボットの説明とデモンストレーション、残りの2～5分間で審査員からの質疑応答とする。